



2023年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年7月29日

上場会社名 サンワテクノス株式会社
 コード番号 8137 URL <https://www.sunwa.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 田中 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 玉木 克也

TEL 03-5202-4011

四半期報告書提出予定日 2022年8月9日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第1四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第1四半期	39,108	16.8	1,341	37.7	1,596	57.8	1,134	59.8
2022年3月期第1四半期	33,489	19.9	974		1,011	609.1	709	615.1

(注) 包括利益 2023年3月期第1四半期 1,542百万円 (24.9%) 2022年3月期第1四半期 1,235百万円 (105.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第1四半期	73.47	
2022年3月期第1四半期	45.00	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第1四半期	89,414	39,257	43.9
2022年3月期	93,078	38,023	40.9

(参考) 自己資本 2023年3月期第1四半期 39,257百万円 2022年3月期 38,023百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		17.00		20.00	37.00
2023年3月期					
2023年3月期(予想)		20.00		20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	83,100	17.1	2,600	23.3	2,700	23.0	1,900	22.5	123.03
通期	164,700	6.7	5,000	4.1	5,200	0.1	3,600	0.6	233.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 有 |
| 以外の会計方針の変更 | : 有 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期1Q	16,044,000 株	2022年3月期	16,044,000 株
期末自己株式数	2023年3月期1Q	600,439 株	2022年3月期	600,439 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期1Q	15,443,561 株	2022年3月期1Q	15,776,681 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8
3. 補足情報	9
(1) 仕入、受注及び販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルスの感染状況が落ち着いたことで経済は回復基調に転化するとみられましたが、上海のロックダウン実施や資材、エネルギー価格の上昇が影響し、経済活動は先行きが不透明な状況が続いております。世界経済については、各国の経済活動が正常化し、景気回復を支えるとみられましたが、中国ではゼロコロナ政策の一環としてロックダウンを行ったことで、経済成長は大幅に減速しております。アメリカでは、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化やインフレ抑制のための金融の引き締めなどを起因とし、経済成長は減速いたしました。

当社グループの関連しております産業用エレクトロニクス・メカトロニクス業界におきましては、半導体関連・自動車関連・電子部品などの市場において設備投資が積極的に行われました。また、半導体をはじめとする部材の供給不足による生産影響を考慮した先行手配などもあり、需要は総じて高い水準で推移いたしました。

このような環境の中で当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高391億8百万円（前年同期比16.8%増）、営業利益13億41百万円（前年同期比37.7%増）、経常利益15億96百万円（前年同期比57.8%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益11億34百万円（前年同期比59.8%増）となりました。

部門別の業績は次のとおりであります。

[電機部門]

電機部門では、半導体関連業界向けの重電機器及び電機品、産業機械業界向け及び太陽光関連業界向けの電機品の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は78億90百万円（前年同期比23.0%増）となりました。

[電子部門]

電子部門では、半導体関連業界向けの電子部品、電子機器及びコネクタ、産業機械業界向けの電子部品及び電子機器、アミューズメント業界向け及びOA機器関連業界向けの電子部品の販売が増加いたしました。この結果、当部門の売上高は288億85百万円（前年同期比13.6%増）となりました。

[機械部門]

機械部門では、自動車関連業界向けの生産設備及び設備機器、半導体関連業界向けの生産設備及び設備機器、FPD関連業界向け搬送装置の販売が増加いたしました。生活用品業界向けの設備機器の販売が減少いたしました。この結果、当部門の売上高は23億32百万円（前年同期比42.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、売上高については、セグメント間の内部売上高又は振替高を含めた売上高で表示しております。

① 日本

半導体関連業界向けの重電機器、電機品、電子部品、電子機器、コネクタ、生産設備及び設備機器、産業機械業界向けの電機品、電子部品及び電子機器、自動車関連業界向けの生産設備及び設備機器が増加いたしました。この結果、売上高299億97百万円（前年同期比13.5%増）、営業利益8億31百万円（前年同期比52.1%増）となりました。

② アジア

アジア地域では、太陽光関連業界向けの電機品、FPD関連業界向けの搬送装置、産業機械業界向け、半導体関連業界向け、自動車関連搭載向け及びOA機器関連業界向けの電子部品の販売が増加いたしました。この結果、売上高135億2百万円（前年同期比31.9%増）、営業利益5億67百万円（前年同期比33.7%増）となりました。

③ 欧米

欧米では、産業機械業界向け及びアミューズメント業界向けの電子部品の販売が増加いたしました。生活用品業界向け及び自動車関連業界向けの設備機器の販売が減少しました。また、輸送費高騰の影響を受け、営業損失となりました。この結果、売上高14億59百万円（前年同期比9.7%増）、営業損失18百万円（前年同期は営業利益12百万円）となりました。

④ その他

売上高は1億83百万円（前年同期比48.3%増）、営業利益2百万円（前年同期は営業損失10百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、894億14百万円となり前連結会計年度末に比べ36億63百万円減少しました。現金及び預金の減少が主な要因であります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、501億57百万円となり前連結会計年度末に比べ48億97百万円減少しました。支払手形及び買掛金、未払法人税等の減少が主な要因であります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、392億57百万円となり前連結会計年度末に比べ12億34百万円増加しました。利益剰余金及び為替換算調整勘定の増加が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年5月9日発表の連結の業績予想から修正を行っておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	14,049	10,366
受取手形、売掛金及び契約資産	43,146	40,341
電子記録債権	8,851	8,932
商品	12,006	14,456
仕掛品	0	1
その他	4,310	5,209
貸倒引当金	△155	△149
流動資産合計	82,209	79,157
固定資産		
有形固定資産	2,230	2,249
無形固定資産	226	250
投資その他の資産	8,411	7,757
固定資産合計	10,868	10,257
資産合計	93,078	89,414
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	23,472	20,339
電子記録債務	17,204	17,561
短期借入金	5,405	7,175
1年内返済予定の長期借入金	2,400	—
未払法人税等	1,244	578
引当金	—	21
その他	3,070	2,484
流動負債合計	52,797	48,160
固定負債		
長期末払金	177	52
役員退職慰労引当金	114	116
退職給付に係る負債	955	971
その他	1,010	856
固定負債合計	2,257	1,996
負債合計	55,054	50,157
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,727	3,727
資本剰余金	3,549	3,549
利益剰余金	26,867	27,693
自己株式	△867	△867
株主資本合計	33,277	34,102
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,721	3,359
為替換算調整勘定	1,024	1,795
その他の包括利益累計額合計	4,746	5,154
純資産合計	38,023	39,257
負債純資産合計	93,078	89,414

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
売上高	33,489	39,108
売上原価	29,411	34,240
売上総利益	4,077	4,868
販売費及び一般管理費	3,103	3,526
営業利益	974	1,341
営業外収益		
受取利息	3	2
受取配当金	40	61
仕入割引	9	9
受取家賃	33	34
為替差益	—	124
その他	36	63
営業外収益合計	124	297
営業外費用		
支払利息	11	19
売上債権売却損	10	12
為替差損	61	—
その他	4	10
営業外費用合計	87	42
経常利益	1,011	1,596
税金等調整前四半期純利益	1,011	1,596
法人税等	301	461
四半期純利益	709	1,134
親会社株主に帰属する四半期純利益	709	1,134

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)
四半期純利益	709	1,134
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△12	△362
為替換算調整勘定	537	770
その他の包括利益合計	525	408
四半期包括利益	1,235	1,542
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,235	1,542
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

また、見積実効税率を使用できない場合は、税引前四半期純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を当第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(在外子会社の収益および費用の本邦通貨への換算方法の変更)

在外子会社の収益および費用は、従来、決算日の直物為替相場により円貨に換算しておりましたが、当第1四半期連結会計期間より期中平均為替相場による方法に変更しております。この変更は、在外子会社の重要性が増してきたため、一時的な為替相場の変動による損益等への影響を緩和し、在外子会社の業績をより適切に連結財務諸表に反映させることを目的とするものであります。

なお、この変更による影響額は軽微であるため、遡及適用は行っておりません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	23,057	9,174	1,138	33,370	119	33,489	—	33,489
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,369	1,063	192	4,625	4	4,630	△4,630	—
計	26,427	10,238	1,330	37,996	123	38,119	△4,630	33,489
セグメント利益又は損 失(△)	546	424	12	983	△10	973	0	974

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額0百万円には、セグメント間取引消去4百万円及び棚卸資産の調整額△3百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第1四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日本	アジア	欧米	計				
売上高								
外部顧客への売上高	25,609	12,050	1,271	38,932	176	39,108	—	39,108
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,387	1,451	188	6,027	6	6,034	△6,034	—
計	29,997	13,502	1,459	44,960	183	45,143	△6,034	39,108
セグメント利益又は損 失(△)	831	567	△18	1,380	2	1,382	△41	1,341

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内子会社の事業活動を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△41百万円には、セグメント間取引消去2百万円及び棚卸資産の調整額△44百万円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

(1) 仕入、受注及び販売の状況

①商品仕入実績

当第1四半期連結累計期間の商品仕入実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	26,062	112.9
アジア (百万円)	9,901	140.1
欧米 (百万円)	605	114.2
報告セグメント計 (百万円)	36,569	119.2
その他 (百万円)	121	132.6
合計 (百万円)	36,690	119.2

②受注状況

当第1四半期連結累計期間の受注状況をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高 (百万円)	前年同期比 (%)	受注残高 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	39,455	117.1	64,090	216.5
アジア	14,539	112.1	23,586	201.0
欧米	911	62.7	1,219	140.0
報告セグメント計	54,906	114.1	88,896	210.6
その他	220	98.2	203	100.4
合計	55,127	114.0	89,100	210.1

③販売実績

当第1四半期連結累計期間の販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年6月30日)	前年同期比 (%)
日本 (百万円)	25,609	111.1
アジア (百万円)	12,050	131.3
欧米 (百万円)	1,271	111.7
報告セグメント計 (百万円)	38,932	116.7
その他 (百万円)	176	148.0
合計 (百万円)	39,108	116.8

(注) セグメント間の取引については相殺消去しております。